

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	シェアワークスクリはら		
○保護者評価実施期間	2024年 1月 1日		～ 2024年 12月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 7名
○従業者評価実施期間	2024年 1月 1日		～ 2024年 12月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	同じ敷地内に短期入所があるため併用利用がしやすい 同施設内に生活介護があるため、卒業後、移行しやすい	短期入所利用時に夜勤スタッフに情報共有し、統一した支援が出来るよう努めている 移行時、生活介護スタッフに情報共有し、不安なく移行出来るよう努めている	短期入所利用時はその日の様子だけでなく、いつもと違った様子や気になった様子等もしっかり申し送り、不安なく過ごせるよう対応していく
2	同じ施設内に生活介護があるため、世代間交流を図れる。	生活介護の利用者と活動(クッキング、季節の行事等)を共に行い、交流を深めている。	長期休み等を活用し、合同で行う活動をさらに増やしてより一層交流を深めていく。
3	施設内が広い、のびのびと体を動かすことができる。また、1人になれる空間があるためパーソナルスペースを確保しやすい。	施設内で体を使ったレクリエーション活動や鬼ごっこを行い、運動能力の向上を図っている。また、トラブルが起こった際にパーソナルスペースを確保し、クールダウンを行っている。	体を動かすレクリエーションのバリエーションをさらに増やし、児童がのびのびと楽しく過ごせるよう職員の知識を深めていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の取り組みを保護者へ周知しきれていない	送迎時の申し送りや連絡帳のみでの周知となっている。	施設の新聞や写真を利用し、保護者への周知をより明確なものにしていく。
2	個別の対応と集団の対応が混在し、児童の対応に差が生じてしまっている。	支援前の職員間の役割分担が明確になっておらず、対応が難しい場合がある。	支援前に職員間で役割の分担や児童の申し送り等についてのミーティングを行い、支援方法を明確にしていく。
3	地域との交流の場が少ない	地域の行事に参加する機会を持っていない	事業所が自発的に交流の場を設け、地域住民を招待し、地域との関わりを深めていく。